

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	5-3-3		事業名	地下鉄ICカードシステムの導入	
担当	交通局事業管理部営業企画課 山本 TEL896-2719				
全体計画					
事業内容	<年度別の事業内容>				
	<p>平成20年度内の地下鉄でのICカード導入に向けて、老朽化に伴う改札機等の駅務機器の更新と併せて、関連機器のICカード化への対応を行う。</p> <p>現在、ICカードで提供するサービス内容について具体的な検討を進めているところであり、路面電車やバスとの共通化についても、その実現に向けて検討を行っている。</p> <p>さらに、クレジット決済との連携やICカードを利用した少額決済(電子マネー)のほか、地元商業者と連携した新たなサービスや行政サービスへの活用を可能とするような枠組みについても、関係部局と連携しながら整備していく。</p>				
事業内容	(IC対応台数/全台数)				
		H20末	H21末	H22末	H23末
	改札機	213台/392台 54%	268台/396台 68%	317台/388台 82%	368台/368台 100%
	券売機	175台/266台 66%	207台/258台 80%	252台/252台 100%	
	精算機	90台/159台 57%	116台/161台 72%	152台/152台 100%	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)		
	<p>○ICカード関連機器等の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センターシステム ・社局サーバ、駅サーバ、運用サーバ中継機 ・改札機、券売機、精算機 ・窓口処理機 ・定期券発行機 ・輸送管理システム改修 ・ネットワーク工事 <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌ICカード協議会の設立(H19年11月) ・ICカードの名称をSAPICA(サピカ)に決定する。(H20年3月) ・ICカード基本シンボルのデザインの決定(H20年3月) 		<p>○ICカード関連機器等の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社局サーバ、駅サーバ、運用サーバ中継機 ・改札機、券売機、精算機 ・窓口処理機 ・定期券発行機 ・輸送管理システム改修 ・ネットワーク工事 <p>○整備状況(IC化対応率)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改札機229台(58%)、券売機177台(66%)、精算機92台(57%) <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○サービス開始 H21年1月30日 ○SAPICAの種類 <ul style="list-style-type: none"> ・無記名SAPICA(大人) 氏名等の登録の必要がなく、だれでも使用できる。 ・記名SAPICA(大人、子ども) 氏名等を登録し、登録者のみが使用できる。 紛失の際は再発行が可能である。 ・SAPICA定期券(大人/通勤、通学)(子ども/通学) 記名SAPICAに定期券機能を付加した。 定期区間外の利用でも自動的に改札機で精算される。 		
事業内容	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)		
	<p>○整備状況(IC化対応率)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改札機329台(71%)、券売機208台(80%)、精算機92台(57%) 		<p>○整備状況(IC化対応率)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改札機329台(71%)、券売機224台(90%)、精算機155台(100%) 		
事業場所					
事業規模					
事業件数					
事業数					

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-3-3			事業名	地下鉄ICカードシステムの導入		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)	
地下鉄へのICカードの導入	－	－	導入			導入 (20年度)	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 ICカードの名称を決定するにあたり、市民の意向を把握するため、名称候補に関する市民意向調査を実施した。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力] 公共交通の活性化と地域の利便性の向上に資する共通ICカードの導入を目指して、札幌市とバス事業者が共同で札幌ICカード協議会を設立した。(H19年11月)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>							
評価(成果)			課題				
地下鉄でのICカードシステムの導入に向けて、着実に準備作業を進めた結果、H21年1月から運用を開始した。			<p>○ICカードサービスの周知徹底 お客さまに新しい乗車券システムを知っていただき、早期にICカードを利用いただくため、引き続きICカードサービスのPRに取り組む。</p> <p>○電車・バスとの共通化 路面電車や民営バスとの共通利用について、実現に向けて検討を行う。</p> <p>○連携サービスの推進 ICカードの利用促進につながる電子マネーや行政サービスなどとの連携を推進する。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>○電車・バスとの共通化 ・路面電車・民営バスとの共通利用について引き続き検討を進める。</p> <p>○連携サービス ・ICカードの利便性を高めるため、ICカードを利用した少額決済(電子マネー)や行政サービスへの活用を継続して検討していく。</p>							

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		5-3-3			事業名	地下鉄ICカードシステムの導入		
事業費の推移								
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計		
計画	事業費	1,201,210	1,387,492	312,197	370,101	3,271,000		
	財源内訳							
	国・道支出金	0	0	0	0	0		
	市の債	1,201,210	1,387,492	312,197	370,101	3,271,000		
予算	事業費	1,201,210	1,410,260	305,890	586,000	3,503,360		
	財源内訳							
	国・道支出金	0	0	0	0	0		
	市の債	1,201,210	1,410,260	305,890	586,000	3,503,360		
実績	事業費	1,168,789	1,406,016	303,953	-	2,878,758		
	財源内訳							
	国・道支出金	0	0	0		0		
	市の債	1,168,789	1,406,016	303,953		2,878,758		
実績	事業費	0	0	0		0		
	財源内訳							
	国の債	0	0	0		0		
	市の債	0	0	0		0		
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)					105.9%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)								
《全体》								
[19年度]								
[20年度] ICカード関連機器のシステム追加に対応するため、その改修費を計上した。								
[21年度]								
[22年度]								